

令和6年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：ナシ黒星病（No. 9）

令和6年5月6日
鳥取県病害虫防除所

表1 病落葉からの子のう胞子飛散状況（調査地点：鳥取県園芸試験場）

単位：個

月・半月	令和6年	令和5年	平年 (平成28年～令和5年)
3・4*	0	0	0*
3・5	2	1	4.5
3・6	6	0	16.8
4・1	100	22	16.4
4・2	66	2	5.4
4・3	4	2	50.0
4・4	4	0	4.8
4・5	4	0	48.1
4・6	1	0	10.5
5・1		0	1.0
5・2		1	0.4
5・3		0	0.1
5・4		0	0
5・5		0	0
5・6		0	0

注) ーは欠測。電動モーターを用いた吸引式胞子採集方法で実施。

* 令和2～5年（4年間）の平均。

表2 果（花）そう基部病斑からの分生胞子飛散状況
（調査地点：鳥取県園芸試験場）

単位：個/雨水あたり

月・半月	令和6年	令和5年	平年 (平成26年～令和5年)
3・4*	0	0	0.2*
3・5	6.4	0	1.7
3・6	2.9	0.8	4.4
4・1	13.1	4.7	9.6
4・2	8.8	9.6	10.5
4・3	0.5	3.6	10.5
4・4	3.6	2.3	6.2
4・5	54.9	0	40.7
4・6	36.0	0.3	19.2
5・1		—**	14.2
5・2		0	21.1
5・3		32.4	11.6
5・4		14.1	21.6
5・5		3.3	63.4
5・6		8.8	22.9

注) ーは欠測。* 令和2～5年（4年間）の平均。

平年値は5年以上の観測値から算出。**は無降水のため調査未実施。

<情報の内容>

4月第6半月調査結果

- ・病落葉からの子のう胞子の飛散量は、平年並であった。
- ・花そう基部からの分生子の飛散量は、平年に比べてやや多かった。

<参考>

- ・子のう胞子採集方法
病落葉（前年採集）の上に設置した胞子採集機内にグリセリンゼリーを塗布したスライドガラスを静置（24～72時間）し、スライドガラスに付着した胞子数を調査した。
- ・分生子採集方法
雨滴法（漏斗を罹病した腋花芽の下に設置）により採集した雨滴中の胞子数を降雨日ごとに調査した。